



Magical Certificate

魔法のスイッチ

MAGICAL SWITCH

あなたの診断書

《1976年1月4日生まれ》

メイン

アイデアの魔法使い



ゆるがない心で完璧に仕上げる魔法使い

パフェキ

【Communication】



ザックリ | キッチリ

【Management】



シッカリ | シッカリ

【Motivation】

ステータス | ドリーム

【Response】

マインド | アクション

【Position】

ディレクト | アジャスト

【Cycle】

2

【Potential】

Ni - lo

【LifeBase】

アプリケーション

サブ

叶える魔法使い



ロマンを現実にする
魔法使い

ロミー

フォーカス

アイデアの魔法使い



ゆるがない心で完璧に仕上げる
魔法使い

パフェキ

魔法のスイッチ

MAGICAL SWITCH

あなたの成功/失敗パターン

成功パターン

世の中は力のあるところが勝利を取めると信じているから、常日頃から出来る限り儉約して貯えた資金や信用、力量をつけるために思い切った努力をしていく。同時に自分も力量をつける勉強を怠らないこと。現在、どういうことが力量をつける必要があるのか？どういう人材が、力量があるかを見抜き、この二つを仲間に取り入れる努力を続けている時は成功の確率が高い。

本質的には「負けない」ことが勝利につながると信じているので、その打つ手の一つひとつに万全を期する、完璧主義を貫いていると着実に前進します。

完璧を求めていくタイプなので、頑固とでも言われるほどにきちんと仕事をしているときは信用できるし、将来も期待できます。逆に、愛嬌が良いときは自分を認めてもらうことに力を注いでいるので余り信用できません。自分を認めてもらうために大きなことをよく言うのですが、言ったことを完璧に出来るように努力させると力がつき成功に近づいていきます。

失敗パターン

強い立場の相手には、相手の出方を見て立場を決め、弱い立場の相手には厳しく出る駆け引きのうまさ、しばらくは成功するが、やがて、警戒されて相手にされなくなります。「これをしてくれるならこうしてあげる」と言って、相手に自分の頼み事をさせておいて、自分はお茶を濁す程度で済ますことをしているとすっかり嫌われます。また、自分が利用したい力量を持つ人には懸命に接触しているが、その人の力量を必要としなくなるとあからさまに態度が変わるので気をつけてください。

「負けないように」と目的もなく、ただなんとなく現状維持の状態が続くと、元々の儉約が身を助けることもあるのですが、今何に時間とお金を使ったらいいのか分からなくなります。すると世の中の変化についていけなくなることがあるので気をつけてください。

完璧を目指すので、出来るまではあまり口にしない秘密主義になりやすい。秘密主義がひどくなると、誰にも真実を明かさなくなると、他の人があなたを信じられなくなくなります。決められたことはきちんとやる人だが、反面、応用力に乏しいので相談できる人がいないと八方塞がりになります。

魔法のスイッチ

MAGICAL SWITCH

【Life Base】

習得本能

知的好奇心・探求・吸収

アプリケーション

あなたが生きる環境

このタイプの人には奇想天外な面白い発想で新しい時代を作る人です。常識や伝統に縛られることを極度に嫌い、自分の気分の赴くままに、どこへでも飛び出して行く人です。

常に破壊と創造のエネルギーにつき動かされたあなたの行動は、実にダイナミックです。周囲の人たちの気を揉ませたり、刺激を与えることも多いでしょう。基本的には今の体制を変えていこうとする個人主義者です。あまり自分の本音を口にしないので、今ひとつわかりにくい人という印象を持たれることも多いでしょう。しかし、大変に忍耐強く、貪欲なまでに強い取得本能を持った努力家で、苦しさやつらさはあまり言葉にすることはしないでしよう。

伝統あるもの、体制、常識などに縛られることなく、常に斬新なもの、夢、ロマンを求めて止まない冒険家、放浪者といえましょう。実際、この生まれの人は束縛や規制を嫌い、自由を求める旅行好きの人が統計上多く、動物や植物を愛し、大自然の中にいるときなどには最も生き生きとしています。

地位、名誉、財などには心惹かれないタイプで、それよりは、いかにして思いのままになるか、新しい人生を創造するかに強い関心があります。ですから、サラリーマンやOLといった枠の中にはまるごとや現世的な世渡りは不得手です。とりあえずお勤めをしていたとしても、心の中ではひそかに我が道を行く日を思い描いているに違いありません。

創作能力に優れ、度胸の良さも抜群なので、色々な体験をすることでこの人の人生はますます面白いものになっていくでしょう。

あなたが輝くためのポイント

平均的、一般的ではない、波乱含みの環境で体験から学ぶ

制約のない自由に動きまわれる状態が良い

周囲からの理解が得られずとも、自らの役割意識と自尊心を強く持って進んでいくこと

魔法のスイッチ

MAGICAL SWITCH

あなたの魔法使いについて

出来る環境

権威あるカッコイイ環境

周囲の人から評価されだすと多くは語らず、謙遜するようになります。周囲が担ぎ上げてもらえるのが居心地良く、実際に功績をたたえられても「自分はそれほどでもありません。周りの人間がすばらしいからです」と周囲の協力を誉めてもらえるように話します。ですから協力者からも一目置かれる存在になっていきます。

説明・分析力が活かせる環境

知的な解決を試みます。一見不思議に見えることでも、あらゆる角度から根拠や事例を結びつけて分析し、法則性、統一性などを見つけていく理論派なのです。また完璧な準備と周囲への説明能力に長け、一目置かれる可能性がある環境を好みます。

間違いのない完全・完璧を必要とする環境

自分の言動にわずかの誤りもないように注意を払う完璧主義者です。そのため自分の言っていることには「間違いがない」ということを相手に印象づけようとして「絶対」という言葉を随所におりませます。準備が大事なことなど完璧を必要とする環境で力を発揮します。

好きなこと

さりげなくやるべきことをやって周りを驚かせること

いつも完璧を目指していますが頑張っている姿はあまり見せたくありません。陰で努力しサラッとやるべきことをやって周りが驚いてくれることが喜びな人です。

人をあたたかく見守りながら育てること

知識欲が旺盛で、何ごとまず知っておこうという姿勢です。社会人になってもビジネス書や自己啓発書を読んだり、セミナーに進んで出席して知識を養い「力量」をつけていこうとします。また人に対しても面倒見良く、学んだことをキッチリ教えてくれる面倒見の良さが信頼につながります。

さらに良くするために付加価値を考えること

完璧にしていくためには他の人がやっていない付加価値をつけていくことに頭を働かせます。それと同じくらいお質の良さにもこだわります。そうして完璧に仕上げていくことがパフェキの持ち味です。



魔法のスイッチ

MAGICAL
Switch



あなたの魔法使いについて

意思決定のポイント

大志を描いて思う存分に取り組む。完璧を目指して集中できる環境を一度は作る。

見た目に惑わされず、細かいことにも目を向けチェックする用意周到さがパフェキの持ち味。

自分の力量をつける。

伝え方

可能性を感じるものに興味がある。イメージが湧くように話をしていくのがベスト。あまり具体的に話過ぎると普通の話になってしまうような場合は話してはあまり多くを語る必要はない。

また細かい指図は嫌いなので、目的を明確にしたら、あとは自由にやりたいと思っている。

話しの内容や身振り手振りは少し大きめに。パフェキに興味を持ってもらうのが重要で、あとはやりながら必要に応じて変更を加えていく自由さを好む。

パフェキは完璧や100点満点を取るために頑張るので、重箱の隅をつつくようなことを言うが、一つ一つ対応しながら話を進めていく。

何から始めるのか？ゴールから逆算して考えることもできるが、目の前のことから話しを進めていく積み上げ型の話の方が頭が働く可能性が高く意思決定が早くなる。

基本的にパフェキは完璧を求める人なので、用意周到に準備をしておくこと。

誉め言葉には弱いので、誉められるとつい判断が甘くなりがち。パフェキは自信を持っていることには謙遜。愛嬌がいいときは要注意なので慎重に話を進めていくこと。



魔法のスイッチ

MAGICAL
Switch



あなたの魔法使いについて

モチベーションのポイント

目標達成意欲、成功願望が旺盛

大先生を目指す。肩書きを付けて呼ぶと喜ぶ

担ぎ出されたい。お墨付きに弱い

学習のポイント

一番大切なことは、何でも答えられる自分になるように努力することです。わからないところがあった場合は、徹底的に調べて完璧を果たしておきましょう。そうすることで安心でき、自信につながっていきます。

自信を持つと途端に安心して向上心がなくなってしまうがちなので、常に新たな目標を設定することを心がけることも重要です。

学習に長い時間をかけるよりは、実践を通して覚えていくほうが、習得への早道になります。

飲み込みの早さを活かして、重要なポイントをキチンと押さえ、とりあえず目の前の事から合理的に処理していくことが有効です。その際は、断片的にならないようにポイントとポイントのつながりも合わせて理解しておきましょう。ポイントだけ聞いて、自分の思い込みでの外れになってしまっていないか、常に注意しておくことも肝心です。

気分左右される事が多いので、何が一番重要なのか優先順位をつけて取り組んでいくと良いでしょう。時間に追われると、細かいところをおろそかにしてしまいがちなので、できるだけ自分のペースでやっていける環境の方が効率が上がります。

『これを覚えておかないと、こんな時の対応が困る』など、覚えておかないとどうなるのか、リスク面を事前に把握しておくことも、本腰を入れる上で大切な要素となります。

常に完璧を目指すことを怠らず、気分的にはわかっているつもりでも実際に本番で対応できるかどうか常に確認を取りましょう。学んだ結果が『資格』につながるものを選ぶこともモチベーションを持続させる上で重要です。

